

令和7年第2回町政報告会 質疑応答集

開催日：令和8年3月21日

| Q | A |
|--|--|
| 結局小中一貫校の話はどうなっているのか。 | 河和中学校敷地内に小学校を整備する方針を定め、保護者アンケートを実施した。西部の保護者からの反対が多かったこともあり、小中一貫校の整備については、今回は見送るという形になった。 |
| 歳出の中の教育費が、令和7年度と比べて5億減となっているのは、小中一貫校の整備費が必要なくなったからか。 | 総合公園体育館の天井耐震工事が5億円であり、その分の減少である。 |
| 近隣の市町と共同でやる事業はあるのか。また、今後近隣の市町村との連携の方向性を教えていただきたい。 | 婚活事業を5市5町で進めている。観光については、国から知多地域として魅力を発信するべきと伺っており、そうしていきたいと考えている。技術職の確保を共同でやっていきたい。それぞれの市町でやっている事業(例えば国保)をもう少し共同でやっていく必要がある。水道事業では、三河では広域連携という形をとっている。こうした動きも考えたい。地域交通では、バスの相互の乗り入れ等について検討していきたい。 |
| どこの市町も少子高齢化が課題として挙げられているが、美浜町の少子高齢化を抑止、改善するための方策はあるのか。 | 名古屋近郊の地価が上がっている中で、美浜町は比較的安いので、これから家を建てる層、いわゆる子育てをされる方たちを呼び込めるよう広報している。 |
| 美浜に住みたいと考えていても、遠方だと通うのが厳しいため名古屋の方へ移り住んでいく人がある。歳入と若者の移住ということで企業誘致はどうか。現状を教えてください。 | 美浜町では、工業団地がないという現実がある。工場ではないがこれから出るであろう廃校を利用した企業の誘致の計画は立てている。小野浦地区の整備も、民間の力を使って整備することを考えている。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・現在は学校にタブレットを置いて帰っているのか。また、どうして持ち帰りの必要があるのか。 ・持ち帰りによって、各家庭で周辺機器の整備の負担を考えたのか。 ・授業の仕方が変わったと思うが、教員の負担を考えたか。また、専門家の協力を仰いでいるのか。 ・タブレットの持ち帰りによって、破損等が起こらないかを危惧している。 ・タブレットを勉強以外のことに使うことが想定されるが、管理は親がしなければならないのか。 ・学習支援のためのソフトウェアの選定は、特定の企業からなのかそれとも入札なのか。また、先生たちの声が反映できるようなシステム、運用が考えられているのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今現在は学校においてある。 ・どの家庭も周辺機器等はある程度整っていると考えている。 ・教員は多少負担があるかもしれないが、ここ数年はこのやり方になっているので、大きな負担ではないと考えている。また、2名のアドバイザーが各学校を担当している。 ・ソフトウェアについては、1年かけて先生たちの意見を聞きながら選定をする。 ・毎日の持ち帰りは想定していない。必要な時だけ持ち帰ってもらう。故意の破損等は別として、故障時の予備機は準備している。 ・勉強外での利用もあるかもしれないが、その場面は親に任せる考え。 |
| 運動公園関連の予算が大きい。町民の生活に関係する部分にもっと予算をつけてほしい。 | 運動公園整備事業については、目的税や都市計画税を使っている都合上、整備費を福祉等の他の事業に回すことは難しい。限られた財源の中で、予算の配分についてはしっかりと考えていきたい。 |
| 公立学校の部活動の地域移行について教えていただきたい。 | 令和8年9月から、休日の部活動を地域の方に見ていただく考え。 |
| 小中一貫校の将来的な見通しはどうなっているか。 | 小学校の複式学級を避けるため、中学校の単学級を避けるためにも、小中一貫校を目指すことに変わりはない。 |
| 陸上競技場の指定管理委託について、今現在はエヌ・エフ・ユーが窓口業務を請け負っていると思うが、来年度もそのまま窓口業務を行うのか。 | 令和7年度については、窓口業務を委託しているが、令和8年度からの委託先については、スポーツコミッションで見積徴収・入札等を行い、委託先を探す。 |
| これまでの窓口業務の委託先の選定が特定の会社ありきに見えるため非常に不透明だと感じる。どのように選定しているのかを教えてください。 | 選定にあたっては、窓口業務を請け負える会社を選んでおり、町内に限らず募集をしている。その中で安く提示してくれた会社に依頼している。 |
| 小中一貫校になることで大学との連携を深めるという話だったと思うが、見送りとなることで大学との連携はどうなるのか。 | 今現在も各小学校で実施することができており、引き続き連携は続けていく。 |